

北海道立総合研究機構農業試験場報告

第131号

春まきパン用コムギ品種の栽培法による
収量・品質安定化に関する研究

平成24年1月

上川農業試験場

春まきパン用コムギ品種の栽培法による収量・品質安定化に関する研究*

博士（農学） 佐藤三佳子**

目 次

第1章	緒論	1
第1節	コムギの種類とその用途	1
第2節	製パン性と種子貯蔵タンパク質の質と量	1
第3節	春まきパン用コムギの品種と栽培法研究の経緯	2
第4節	本研究の目的	4
第2章	春まきコムギへの生育診断の応用	5
第1節	穂揃期における生育診断技術の開発	5
第2節	タンパク質含有率推定に適した測定葉位，測定時期の検討	12
第3章	栽培技術の高度化による品質安定化手法の開発	16
第4章	品種の生育特性に応じた栽培指針の構築	24
第1節	新品種「はるきらり」の窒素施肥法	24
第2節	播種期・播種量の差が生育・収量に及ぼす影響	31
第3節	開花期までの温度差が収量に及ぼす影響	37
第5章	総合論議	43
第1節	春まきパン用コムギの生育診断法	43
第2節	栽培技術の高度化による収量・品質安定化手法	44
第3節	栽培法による品質安定化の限界	46
	摘要	47
	Summary	49
	謝辞	51
	引用文献	53

*岩手大学大学院連合農学研究科審査学位論文

**北海道立総合研究機構上川農業試験場（〒079-0397 北海道上川郡比布町南1線5号）